

## アカハライモリの新規遺伝子改変技術の開発と系統維持

佐々木 翼 (筑波大学 生物学類) 指導教員: 千葉 親文 (筑波大学 生命環境系)

### 【導入】

有尾両生類のイモリは、成体でも、体の様々な部分 (body parts) を再生する能力をもつ。私が所属する研究室の究極目標は、ヒトの医療においてイモリ型のbody part再生を実現することである。そのためには、イモリの再生メカニズムを理解するとともに、ヒトの創傷治癒や外傷性疾患との違いを理解することが肝要である。研究室では、イモリの再生メカニズムを理解するために、これまで様々な遺伝子改変アカハライモリ (*Cynops pyrrhogaster*) を作製し、細胞系譜解析や遺伝子機能解析に利用してきた。本研究では、再生研究に有用なこれら遺伝子改変アカハライモリ系統の維持・繁殖に取り組むとともに、これまでとは異なる原理で細胞系譜解析や遺伝子機能解析を可能にする新たなアカハライモリ遺伝子改変技術の開発に取り組んだ。詳しくは発表会の場で報告する。